

平成のモボ・モガが語る 大正・昭和モダンと近代音楽史

黒煙を吐き、汽笛を鳴らし、熊野の地を蒸気機関車が走り始めた大正元年
その頃の熊野・新宮は決して片田舎のまちではありませんでした。

すでに水力発電によって街に電燈が灯り、佐藤春夫が、西村伊作が、東くめが
ドクトル大石が、東京や世界と交流し、モダンな街でありました。

先人の想いを感じつつ今に活かせる何かが見つければ・・・

そんな熊野の黄昏時をお過ごし下さい。

平成25年12月1日(日) 午後4時から

於：旧 新宮第一小学校講堂

新宮市下本町2-2-1 元 丹鶴小学校体育館

入場無料

16:00 開会・あいさつ

16:10 ①「モダン生活入門」

日本モダンガール協会代表：浅井カヨ

16:30 ②「日本大正音楽史」

音楽史研究家：郡 修彦

17:10 ③余興：蓄音器によるSPレコード鑑賞

17:30 閉会・あいさつ



講師紹介

郡 修彦

(こおり はるひこ)



1962年東京生まれ。
音楽史研究家。
作曲家・音楽評論家の
故・森一也先生に師事。
SPレコード時代の音楽史を一次
資料の徹底した調査により
解明し、CD解説書・新聞・
雑誌・同人誌に発表。
SPレコードの再生・復刻では
世界最高水準の技量を有する。

浅井カヨ

(あさい かよ)



1976年愛知生まれ。
日本モダンガール協会代表。
大正末から昭和初期の
日本のモダンガールの研究と
実践を行い、各地で展示、
催事等の企画、出演をし
ている。
月刊「PHPマガジン」にて
「モダンガール入門」を連載中。

主催
後援

熊野の鉄道100年を祝い未来を考える実行委員会
新宮市観光協会、那智勝浦町観光協会
和歌山県、新宮市、那智勝浦町

